

還

談

期

笑

典

書風は、かんとうしやくやまうのじよ雁塔聖教序ちんすいりよう（唐褚遂良）
書は、ぎやう行書の筆意を帯びた楷書
字形は、やや扁平、鋭利、多変な向勢
点画は、軽妙な細い線、ゆったりと粘りか
あり、鋼線のように強靱で潤い
ある。

横画 ↓ 中央は少し細く
縦画 ← 中央は少し細く
うねる

だんしやう かん きな
談笑して 還るの期無し

楽しく語り合って 帰るのも忘れてしまふ。

（王維の詩より）